

平成21年7月30日



各 位

会 社 名

**NSW**

(登記社名: 日本システムウェア株式会社)

代 表 者 名 取締役会長兼社長 多 田 修 人

コ ー ド 番 号 9739 東証第一部

本 社 所 在 地 東京都渋谷区桜丘町31番11号

問 合 せ 先

責任者役職名 取締役 経理部長

氏 名 桑 原 公 生

電 話 03-3770-1111(代表)

平成22年3月期(連結・個別)業績・配当予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日付で発表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績・配当予想の修正および特別損失の計上を行うこととなりましたので、お知らせいたします。

## 記

### 1. 連結業績予想の修正

平成22年3月期 第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	13,000	320	270	140	9円40銭
今回修正予想(B)	11,500	△ 370	△ 410	△ 630	△42円28銭
増減額(B-A)	△ 1,500	△ 690	△ 680	△ 770	—
増減率(%)	△ 11.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期 第2四半期)	16,308	556	521	452	30円38銭

平成22年3月期 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	26,300	880	780	410	27円52銭
今回修正予想(B)	23,500	200	100	△140	△9円40銭
増減額(B-A)	△ 2,800	△ 680	△ 680	△ 550	—
増減率(%)	△ 10.6%	△ 77.3%	△ 87.2%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	32,502	1,046	977	591	36円69銭

## 2. 個別業績予想の修正

平成22年3月期 第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	12,400	250	250	140	9円40銭
今回修正予想(B)	11,000	△380	△350	△560	△37円58銭
増減額(B-A)	△1,400	△630	△600	△700	—
増減率(%)	△11.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期 第2四半期)	15,655	473	493	477	32円07銭

平成22年3月期 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	25,000	750	700	400	26円85銭
今回修正予想(B)	22,500	160	130	△80	△5円37銭
増減額(B-A)	△2,500	△590	△570	△480	—
増減率(%)	△10.0%	△78.7%	△81.4%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	31,185	845	832	508	34円16銭

## 3. 修正理由

### (1) 連結業績予想の修正理由

当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、国内景気の悪化に伴い需要が想定以上に落ち込んだ結果、内製化やリソース適正化などの対応が追いつかず、利益面で当初計画を大幅に下回りました。また、一部には景気の下げ止まりの兆しが見え始めているものの、国内景気全般の先行きは依然として不透明であり、需要の回復には相当の期間を要するものと思われまます。

このように、足元の業績が当初計画を大きく下回ったこと、および今後の事業環境の急速な回復が期待できないことを考慮しますと、第2四半期以降の業績につきましても当初計画通りに推移することは極めて困難な状況であるため、平成21年5月12日に発表した第2四半期累計期間および通期の業績予想を修正いたします。

当社グループではこのような状況を踏まえ、コスト削減を中心とした事業再構築をさらに加速させ、業績の回復を図ってまいります。対策としましては、開発部門における内製化の再徹底による稼働率の改善とリソースの適正化に加え、間接部門の体制縮小による販売費および一般管理費のさらなる削減、オフィスの集約などによる経費の削減に注力してまいります。

これらの緊急対策を第2四半期末までに実施し、第3四半期以降は確実に利益を生み出せる企業体質への転換を図ってまいります。

### (2) 個別業績予想の修正理由

連結業績予想の修正理由と同様であります。

#### 4. 配当予想の修正

##### (1) 修正の内容

	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年5月12日発表)	円 銭 7. 50	円 銭 7. 50	円 銭 15. 00
今回修正予想	4. 00	4. 00	8. 00
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	7. 50	7. 50	15. 00

##### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付け、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としており、平成22年3月期におきましても、例年と同様の配当を予定しておりました。

しかし、既に申し上げたとおり、当第1四半期連結会計期間において当初の業績予想を大幅に下回る損失を計上し、第2四半期以降におきましても当初の業績予想を下方修正しなければならない状況となり、第2四半期累計期間、通期ともに純利益が赤字となる見込みであります。

このような状況を踏まえ、誠に遺憾ながら、当社は平成21年7月30日開催の取締役会において、平成22年3月期の配当予想を修正することを決議いたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

#### 5. 特別損失の計上

前項で申し上げた時限的な緊急対策の実施に伴い、第2四半期連結会計期間に退職特別加算金等210百万円を特別損失として計上する見込みであります。

##### <業績予想に関する注意事項>

上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる場合があることにご留意ください。

以 上